

あふれる熱気、傍聴者が喜びにわく。

「ポートピア和歌山設置反対」請願を採択！

本会議の投票結果「賛成20、反対18」、請願を採択へ。

本町地区に設置が計画されているミニポートピア和歌山の設置反対の請願が「本町地区の場外舟券売場に反対する会」やPTA、婦人会などから提出されていました。7日市議会最終日に採決となり、無記名投票の結果「賛成20、反対18」で採択となりました。これにより、設置同意の3要件の一つである、議会の反対が明確となり、設置は断念することとなります。議場は傍聴者であふれ、採択されると拍手が沸き起こりました。（右写真は議場で見守る傍聴者）



討論で、日本共産党和歌山市会議員団を代表して、渡辺忠広市議が、請願採択の賛成討論を行ないました。また、新風クラブの島幸一市議も賛成討論を行ないました。渡辺市議（左写真）の討論全文を紹介します。

日夜わかつた反対運動に取り組まれたみなさんに心より敬意を表します。

日本共産党市会議員団を代表して、ただいま上程された、請願第6号「本町地区に計画されている「ミニポートピア和歌山」の設置反対の請願に賛成の立場から討論を行います。

この「請願」の趣旨に「本市がめざしているまちなか居住の推進の方針とはなじまない施設であるため、設置に同意せず、当該計画に反対してください」と述べられています。住民の皆さんの運動が長期に亘って繰りひろげられ、今日の請願に至ったものと思われまます。

請願人は「本町地区の場外舟券売り場に反対する会」をはじめ、13団体、後に本町婦人会を始め9団体の賛同も加わり、多くの地区住民の願いが託された請願であることを申し添え、賛成討論といたします。

2009年7月7日

日本共産党和歌山市議会議員 渡辺忠広